



高齢者介護の現状と課題について

田辺 純子 議員



質問 介護人材の確保対策は。

答弁 介護職員初任者研修課程の修了者に1人5万円を上限に研修受講料を補助しており、今年度は30万円を予算計上しています。

質問 介護職員の処遇改善についての対策は。

答弁 本市では、賃上げ促

進支援金を支給しており、

県のぐんま賃上げ促進支援金事業と連携し、人材確保や定着促進、処遇改善を図っています。

質問 市内訪問介護事業所の運営は成り立っているか。

答弁 訪問介護員の高齢化や近年の物価高騰により経営は厳しい状況だと認識し

ています。

質問 板倉町、千代田町など近隣で訪問介護事業所が1か所しかない自治体があり、館林市も安心できる状況ではありません。高齢者が地域で生活するために必要な支援サービスの取組は。

答弁 地域の方々が参画し、助け合える体制づくりや、安心して生活できる買い物支援、移送等の身近なサービスの充実が図られるよう支援していきます。

質問 高齢者いきいきプラ



市有財産の取り扱いについて

斉藤 貢一 議員



質問 公的不動産利活用促進基本協定について伺います。館林アーバンデザインは、駅西區画整理地内の市有地の有効活用や、将来的に駅東の活性化にも役立てていきたいとの方針だったと思うが、協定書の範囲は館林市全域になっています。市議会に説明がないまま協

定を結んで一年以上が経過しており、これは議会軽視ではないですか。

答弁 駅西區画整理地内の市街地推進研究会の設置目的として館林駅西口の市街地の形成をさらに迅速に推進させるためと答弁しましたが、対象範囲は市内全域と認識していました。

今後は誤解のないよう分かりやすい答弁に努めていきたいと思うと同時に、決して議会軽視ということではありません。

質問 協定は、館林アーバンデザインの代表理事である市長と市側は副市長との間で協定を締結しています。市財務規則では減免措置や無償貸与の権限が市長に与えられている中でおかしいとは思いませんか。

答弁 各段階を公開し公明に契約をしていますので、

ンのアンケート調査でも、移送サービスや見守り等のニーズは高い。移送は基本的人権の交通権として、憲法で保障された権利であり、しっかりと取り組んでいただきたい。

認知症高齢者への対策は。

答弁 認知機能の維持向上と低下予防を目的とした講座の実施、オレンジカフェ開催のほか、1市5町で連携し、ICTを活用した見守りシールを導入しました。

質問 ケアマネジャーを取

り巻く状況は。

答弁 居宅介護事業所が22事業所、所属するケアマネジャーは73人で、抱える課題は多様化・複雑化し、大変厳しい状況にあります。

質問 ケアマネジャーの勤務状況には、介護サービスの利用者へのタクシー券配布や負担割合に関する手続き、ハラスメント等の問題があるが、どう支援されるか。

答弁 介護支援専門員研修会の開催や、DX化の推進により支援していきます。

業になるのか、また、前指定管理者は浴場・レストラン利用者が数多くいたが、収益内容を把握しているのか、市民福祉向上に係る運用を今後どのように考えているのか伺います。

答弁 自主事業であるレストラン業務の収益を含め、長期間運営をしてほしいと考えています。また、多くの市民にご利用いただくため、料金設定等の課題を指定管理者と共に取り組んでいきたいと思っています。